

上位入賞作品

全国で総応募数47万2,461作品

上位賞29作品、優秀賞2,000作品、入選10,154作品が選出

文部科学大臣賞

幼児の部



「雨」(年少・3歳)北海道

小学校低学年(1・2年生)の部



「ちか」(2年生・8歳)長野県

小学校中学年(3・4年生)の部



「いごボール」(3年生・8歳)岩手県

小学校高学年(5・6年生)の部



「街」(6年生・12歳)静岡県

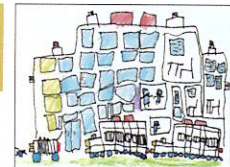
毎日新聞賞

幼児の部



「だんごむしのかぞく」(年少・3歳)新潟県

幼児の部



「かっこいい警察署」(年長・6歳)新潟県

小学校低学年(1・2年生)の部



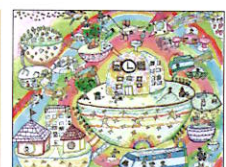
「あったらいいなこどものホテル」(2年生・8歳)山形県

小学校中学年(3・4年生)の部



「ぼくの新しい自転車」(3年生・8歳)静岡県

小学校高学年(5・6年生)の部



「ぼくの夢の中のじい色の世界」(6年生・12歳)茨城県

マミーマートを通じた参加者からは、優秀賞156名、入選1,122名が選出

上位賞に
マミーマートからは
遠藤 史惟さんが入賞

第43回 全国児童画コンクール 表彰式



「てっとう」

遠藤 史惟さん(1年生・6歳)
千葉県柏市立増尾西小学校
[生鮮市場TOP 増尾台店]



ご家族と

上位入賞者
29名全員で

ご賛同いただいた多くの先生、保護者の方々にお喜びの声をいただいております。

初めて参加された幼稚園では、お絵描きの時間に皆で楽しく描けたと喜んでいただきました。ある小学校では、応募された児童全員に参加賞があることで夏休みの課題に取り上げてくださり、500人以上の団体様での申し込みをいただきました。

作品展示や寄付企画など、地域とのつながりや社会貢献を目的に実施しているこのコンクールにご理解、ご賛同のうえ、多数のご応募をいただきたくお願い申し上げます。

【主催】毎日新聞社／毎日小学生新聞／日本児童画振興会 【後援】文部科学省 【協賛】CGCグループ

ぜん こく じ どう が 全国児童画 コンクール

マミーマートの2024年度実施報告

毎日小学生 新聞賞

小学校低学年(1・2年生)の部

★★★★★

受賞おめでとう
ございます

日本児童画振興会賞

ほか
3名



「東京の夜」(4年生・9歳)青森県

CGCグループ賞

ほか
12名



「私の庭から見える景色」(5年生・11歳)島根県

優秀賞の受賞者には、
表彰状とメダルを、
入選者には表彰状とバッジを進呈



参加していただいた皆様に
参加賞の自由帳を差し上げます



「てっとう」 遠藤 史惟さん(1年生・6歳) 千葉県柏市立増尾西小学校 [生鮮市場TOP 増尾台店]

1982年から毎年開催 3歳～12歳の人口の20人に1人が 応募する日本一の児童画コンクール

マミーマート参加者数は、全国の参加企業中、1位、
前年比較で、約15%増の59,433作品の参加をいただきました。
マミーマートを通じた参加者からは、優秀賞156名、入選1,122名が選出。

「全国児童画コンクール」は1982年(昭和57年)、絵画を通じて児童の情操教育を応援することを目的に始めました。参加者は、認知度の高まりに合わせて増え続け、第30回以降は毎年約50万枚の作品が集まる国内最大規模の児童画コンクールへと成長しました。CGC加盟企業であるマミーマートは作品募集の拠点となり、店長を中心に地元の小学校や幼稚園、保育所に参加を呼びかけ、応募用紙のお届け、作品の引き取り、店舗での展示会や表彰式、作品の返却といった一連の活動を通じて、たくさん子どもたちやその家族、学校関係者と交流を深めています。

第40回以降 「子どもたちの未来を 応援」する寄付企画に

作品1枚につき **20円を寄付** コンクール寄付金総額 **944万9,220円**

応募作品1枚につき寄付金をCGCグループが積み立て、文部科学大臣賞の受賞者4名がお住まいの市区町村の子ども未来課などに4等分して寄付をする取り組みです。

各市役所にて市長と



マミーマートとして、118万8,660円を寄付しました



幼稚園へのお届け



審査の様子

画題やテーマは設けず、 全応募作品を審査

「全国児童画コンクール」では、開始当初から変わらずに続けてきたことがあります。

一つめは、作品を募集するのにあたり、「画題やテーマは設けない」こと。子どもたちが見たこと、感じたこと、考えたことを自由に絵で表現することが想像力の発達など、子どもの成長にとって大切である、と考えているからです。

二つめは、全応募作品を一枚一枚ていねいに審査することです。学校選考や地区選考などはせず、美術大学の教授や小学校の先生など児童画教育の専門家が、東京の事務局へ集められた全応募作品を審査します。

審査委員長 春日 明夫先生の総評

夏がとても暑かったということもあり、例年より外で遊ぶ絵は少なく、お祭りの絵も減った印象でしたが、その一方で、家族との楽しかった思い出を描いた作品が多くありました。子どもの絵には背景に生活があります。応募テーマが自由なこの全国児童画コンクールに応募される作品には、子どもたちが日々を生活している実態が表現されています。今年もそれらをきちんと審査し、宝物のような素敵な作品を選ぶことができました。(東京造形大学 名誉教授)

児童画応募

の マミーマート



児童画教育の
専門家による
審査・表彰式

児童の絵画を通じて
地域とのつながりと
社会貢献を目的に

実施しているコンクールです

応募枚数に応じた
寄付

地域ごとの
店舗で展示

毎年1月からマミーマート、
マミープラス、生鮮市場TOPのお店で
全応募作品を展示



展示した作品は、返却いたします